

## 第53回宇宙政策委員会 議事要旨

1. 日時：平成28年9月29日（木） 15：00－15：45
2. 場所：内閣府宇宙開発戦略推進事務局大会議室
3. 出席者
  - (1) 委員  
葛西委員長、松井委員長代理、遠藤委員、山川委員、山崎委員
  - (2) 政府側  
宇宙開発戦略推進事務局 高田事務局長、佐伯審議官、行松参事官、高見参事官、松井参事官、守山参事官
  - (3) 関係省庁等  
内閣官房総合海洋政策本部事務局 甲斐 正彰事務局長、木下 秀樹参事官
4. 議事要旨
  - (1) 平成29年度概算要求における宇宙関係予算について  
宇宙開発戦略推進事務局より説明を行った。委員からは以下の様な意見があった。  
○宇宙基本計画工程表の実現に必須なものであり、各省におかれては満額を取りに行くつもりで要求を進めて頂きたい。
  
  - (2) 我が国の海洋状況把握の能力強化に向けた取組について  
総合海洋政策本部事務局より説明を行った。委員からは以下の様な意見等があった。  
(以下、○意見・質問等、●回答)  
○米国との協力は具体的に始まっているのか。  
●今回の決定は民生用、行政用のシステムをまずは作るというものであり、安全保障目的や米国との連携はまだこれからである。  
  
○尖閣諸島の状況に対する国民的関心が高いが、それに対応したものになっているのか。  
●特定の海域を想定したものではなく、まずはシステムをまとめていくということを考えている。  
  
○平成29年度から開発に着手するとのことだが、データの提供元とユーザーの関心は異なる事が想定されるため、それぞれの意見をよく聞いてブラッシュアップしてほしい。  
  
○既存のシステムを束ねる主体として海上保安庁が行う旨が決まったことを評価するが、日米宇宙安全保障ではMDAにおける期待があり、別途、検討を進めて頂きたい。

以上